

交通安全を祈るカラフルなマスコットです

「交通安全母の会」会長の木幡久美子さんが、一つひとつ手作りで交通安全マスコットを、村の幼稚園と小学校に寄贈しました。このマスコットは、青・黄・赤に染められたまゆ玉をつないだ、信号をイメージしたデザインで、この春入園・入学した子どもたちに贈られました。

▶小学校に贈呈する木幡さん



J A 富山県女性組織協議会が来庁

4/9

J A 富山県女性組織協議会から 17 名のみなさんが、義援金を持参し飯野出張所を来訪しました。この会では、北日本新聞掲載の村長の記事をきっかけに参加者を募り、遠路をバスで福島へやってきました。村長と面会した会員は、富山名産のチューリップの花束と義援金を手渡し、富山と飯館の土地柄を紹介し合い、歓談しました。

▼庁舎前で笑顔の記念写真



▶義援金が贈られました



◀いやしの宿 いいたて

「いやしの宿 いいたて」 会員が2,000人に

4/19

4月19日、「いやしの宿 いいたて」の村民会員登録数が、2,000人を突破しました。2,000人目は小宮地区の三浦菜奈ちゃん（3歳）。母親の由加利さんは「いつも利用しているおじいちゃんに『一緒に連れて行って』とお願いして来館しました。念願の大きなお風呂に入れて、来場2,000人目にもなって、うれしかったです。」と話していました。

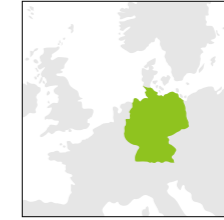
▲菜奈ちゃんと祖父の三浦国広さん



ドイツ研修旅行へ行ってきました —第2回「未来への翼」—



▲バイオガス発電をする農家を見学



村が「いいたてっ子未来基金」を活用し、子どもたちを海外に派遣する「未来への翼」事業。昨年8月の第1回に続き、第2回は3月24日から31日の8日間、19名の中学生がドイツを訪れ、意欲的に生活文化の違いや、環境問題への取り組みを学んできました。後日、報告会も開催される予定です。

ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします



▲エネルギー自給の村フライアムト。住民が建てた風車の前で

東京ドームで野球観戦

4/12

村の主催で、小中学生に野球観戦を楽しんでもらう事業が行われました。お世話になっている川俣町・飯野町でも応募を募り、今回は18家族が参加。東京ドームでジャイアンツ対ヤクルト戦を観戦しました。東京都小石川ロータリークラブの支援により、参加は無料となっています。8月には第2弾、第3弾のツアーも予定されています。



▲真剣に試合に見入っています
◀観客でいっぱい東京ドーム